

正野参考人（兵庫県たつの市）

提出資料

PRESENTATION

たつの市におけるふくし総合相談窓口の取組 ～丸ごとの相談支援を目指して～

たつの市健康福祉部地域包括課 総合相談支援係
係長 正野 潔

たつの市の概要



兵庫県の南西部に位置

面積: 210.93km²

市域の北半分は山林が占め

南は瀬戸内海に面している

南北に貫く1級河川揖保川など自然環境に恵まれている

人口	76,600人	地域包括支援センター(直営)	1
高齢者数	23,064人	日常生活圏域	5
高齢化率	30.1%	在宅介護支援センター	5



瀬戸内海と新舞子での潮干狩り



室津港



PRESENTATION

「我が事・丸ごと」の「地域共生社会」の実現を
念頭においた、**横断的に対応する組織**へ

地域包括支援センター（H18年4月～）



地域包括支援課（H28年4月～）

地域包括支援係（H28年4月～）

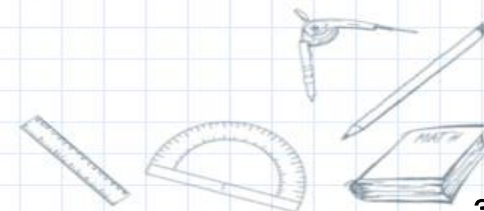
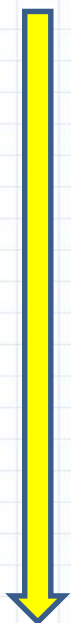
地域包括支援センター運営事業、介護予防・日常生活自立
支援事業、地域ケア会議推進事業など

総合相談支援係（H29年4月～）

ふくし総合相談窓口、生活支援体制整備事業など

認知症支援係（H30年4月～）

認知症施策全般





PRESENTATION

- **設置場所**

たつの市役所1階

健康福祉部 地域包括支援課 総合相談支援係

- **職員体制**

保健師 2名、社会福祉士 2名、

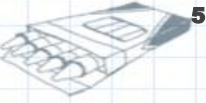
看護師(認知症地域支援推進員) 1名

社会福祉主事(生活支援コーディネーター) 1名

合計 6名(うち、2名を**相談支援包括化推進員の予算活用**)

(上記に加え、精神科認定看護師が月2回出務)

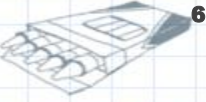




PRESENTATION

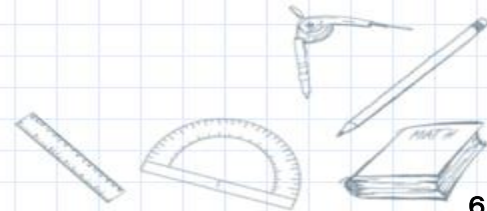
- ①ふくし総合相談窓口事業
- ②在宅医療・介護連携推進事業
- ③地域共生社会推進事業
- ④生活支援体制整備事業
- ⑤権利擁護事業(高齢者虐待相談窓口)
- ⑥成年後見制度支援利用支援事業
- ⑦西播磨成年後見支援センター事業(西播磨4市3町でたつの市社協へ委託。促進法に基づく中核機関、市民後見人育成等を実施)
- ⑧地域生活支援拠点事業(障害者基幹相談支援センター)





PRESENTATION

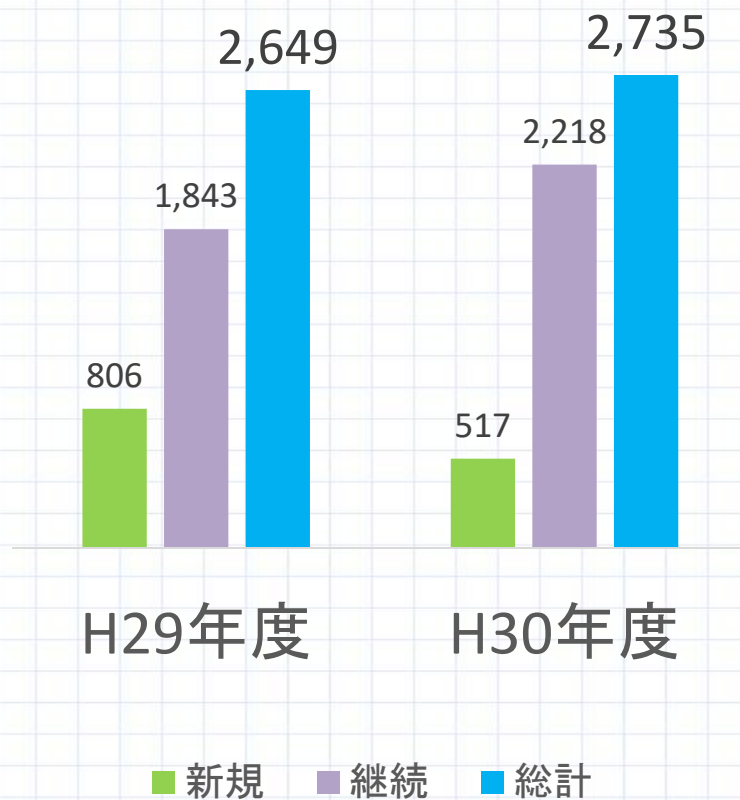
- 単独の課・部署では十分に対応できない「制度の狭間」の相談支援を行う。
- 伴走的な関わりの中で、多職種によるアセスメントと多機関との協働による支援の実施。
- 相談支援包括化推進会議を開催し、庁内外の専門機関のネットワークを構築する。



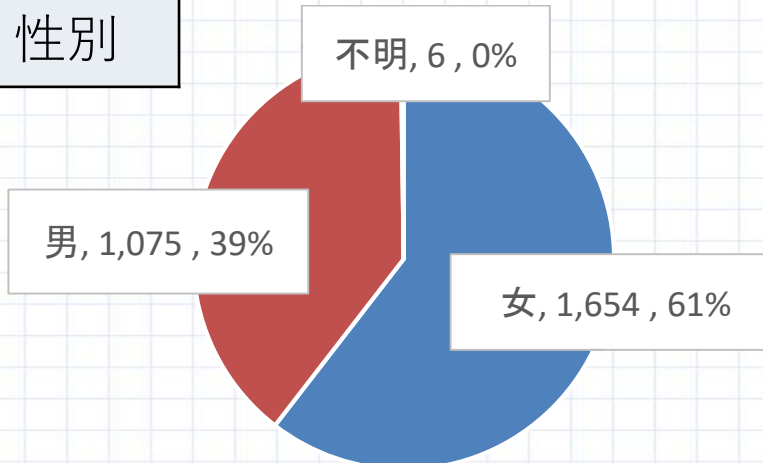


PRESENTATION

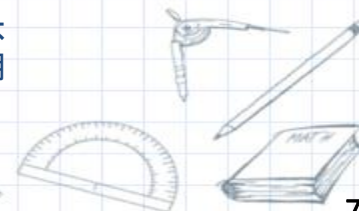
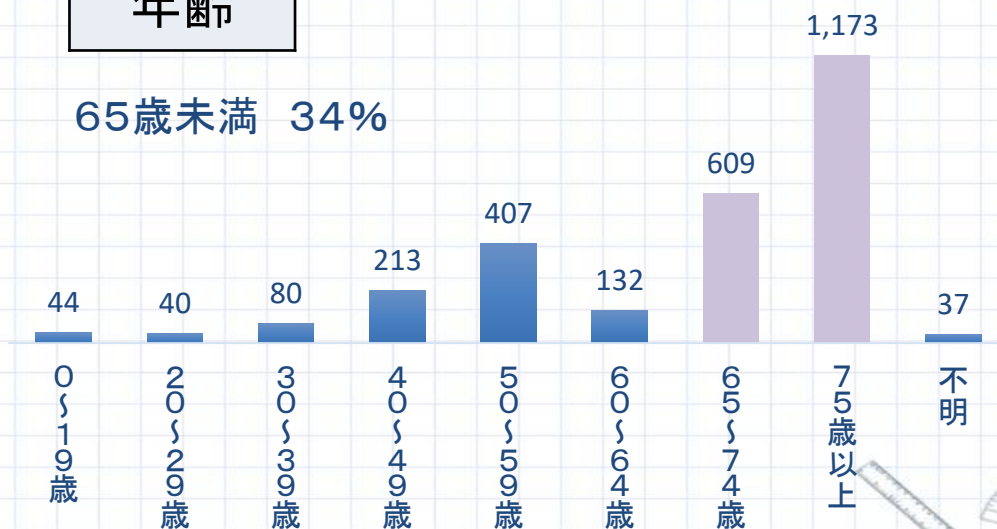
相談人数(延べ)

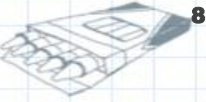


性別



年齢

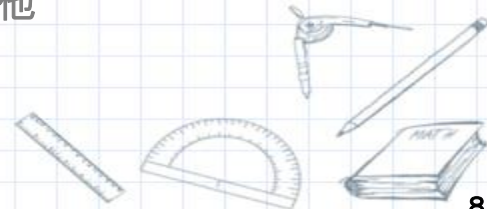
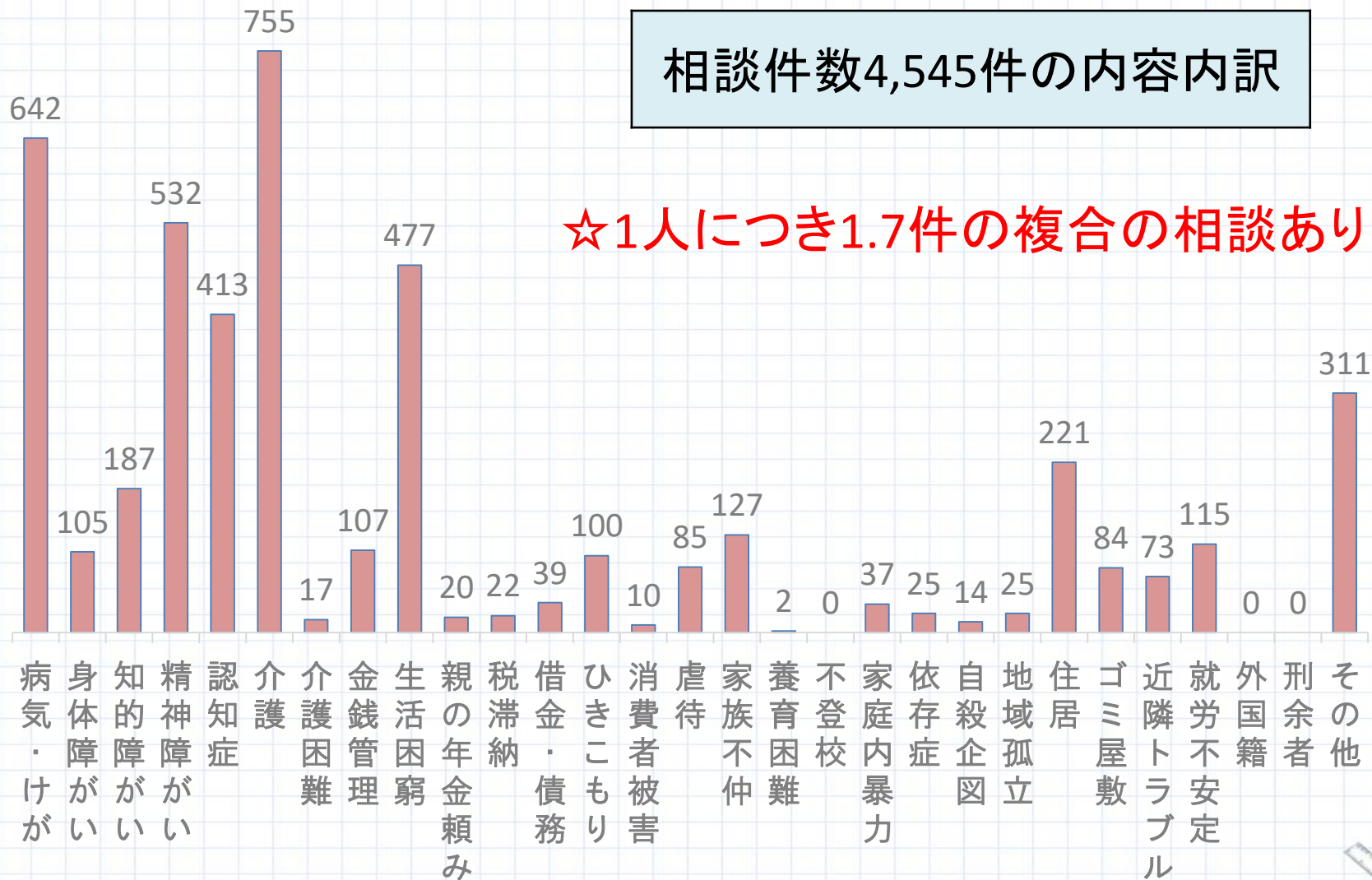




PRESENTATION

相談件数4,545件の内容内訳

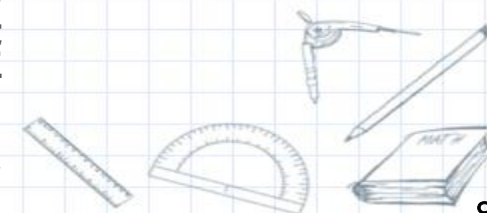
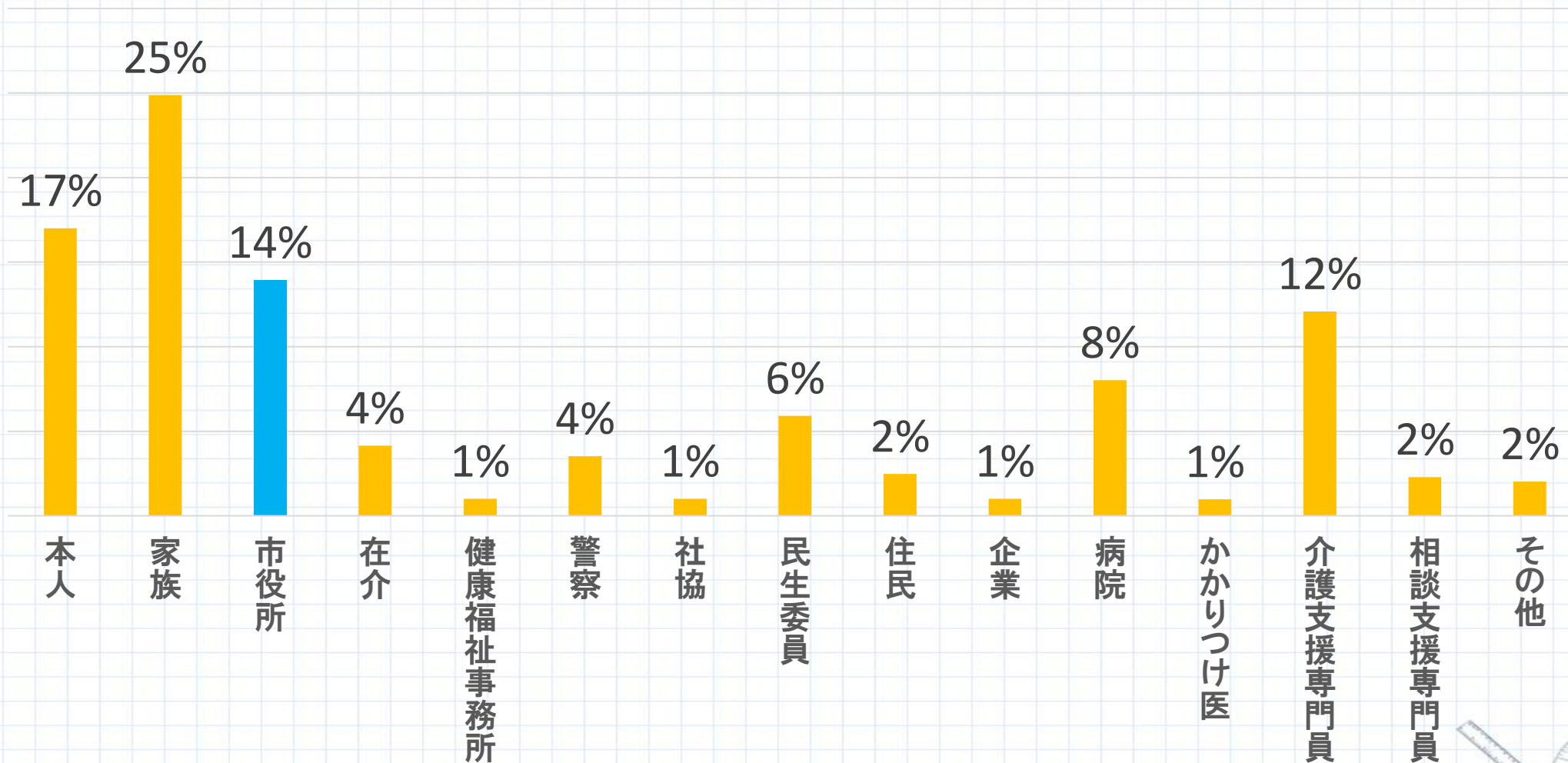
☆1人につき1.7件の複合の相談あり





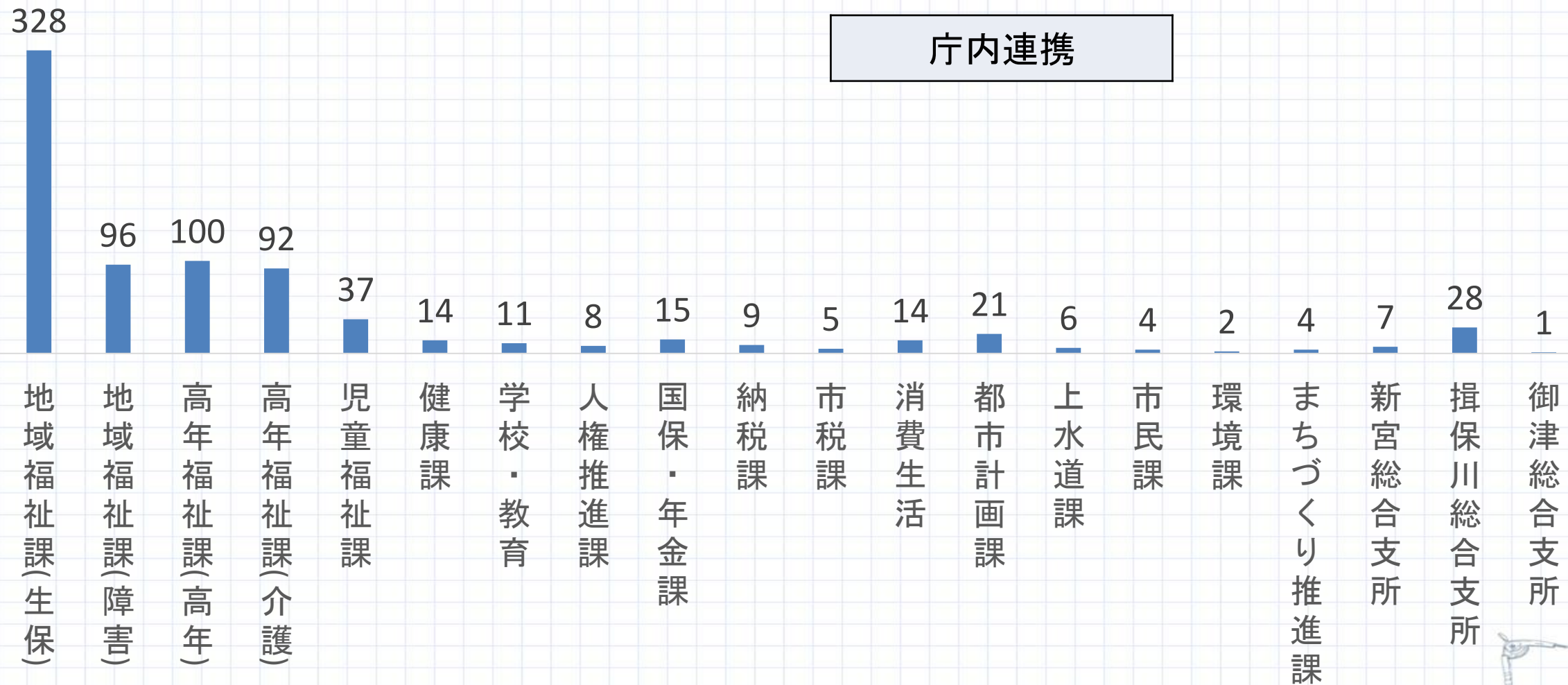
PRESENTATION

相談経路

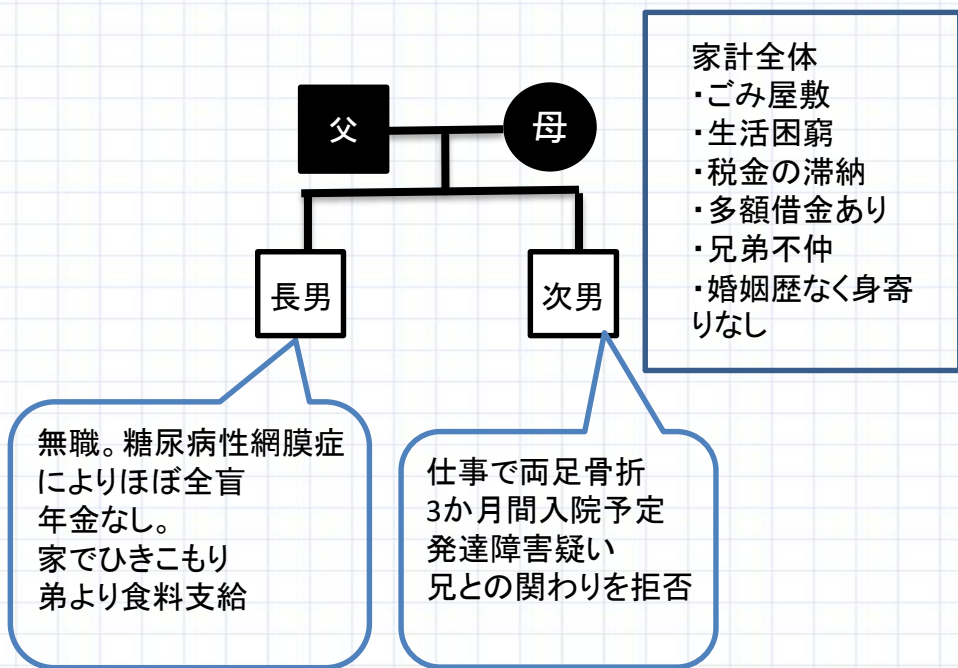


PRESENTATION

庁内連携



PRESENTATION



- 長男65歳、次男62歳で次男の収入のみで生活している世帯。
- 次男の両足骨折により、長男の生活が立ち行かなくなり、次男の病院から相談があったケース。

モデル事業(ふくし総合相談)による関わり

- 自宅訪問すると物であふれる中、暗い室内で生活している長男を発見。自分だけで生活することは困難であり、栄養失調なども疑われたため、本人同意のもと受診し入院となる。
- 当初は生活保護を検討したが、年金手続きをしていないことが判明。本人の同意を得て、社会保険労務士へ相談し手続きを代行。
- 遡求分の年金が入ったため、税金の滞納及び借金整理また念願の眼科受診。糖尿病性網膜症ではなく、白内障と判明し手術施行し、視力回復。現在は、社会福祉法人が運営している施設の掃除や剪定、畑仕事などを行い、自立した生活ができている。

障害・税務・生活保護・市営住宅などの庁内や社会保険労務士、司法書士、医療機関、高齢者住宅、介護事業所など、様々な機関が関わった複合的な課題を持ったケース。こうした場合に、「断らない相談機関」がコーディネーターの機能を発揮。



PRESENTATION

（庁内）

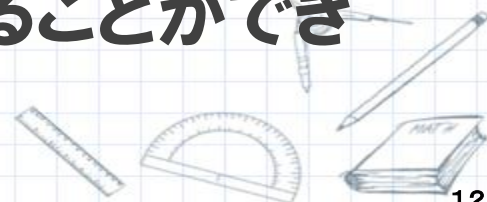
- 一つの課だけでは対応できない複合的な課題を抱えた相談の場合、ふくし総合相談窓口につながるようになった。

（市民）

- 福祉に関する相談窓口を一本化することで、同じ話を何度もすることがなくなり、時間短縮、負担の軽減が図れている。必要に応じ職員が同行し主訴を的確に伝えるため、制度をスムーズに利用できるようになった。

（専門職）

- 介護支援専門員等専門職の業務の範疇を超える相談があった場合、ふくし総合相談窓口のネットワークを活用し必要な窓口につなげることができるようになった。





PRESENTATION

- 制度の狭間などで利用できる制度がなければ、解決できず、ふくし総合相談窓口にケースがたまる。
- 必要な出口支援の事業は、多岐にわたり、他課が担当していることや生活支援コーディネーターが行う地域資源の創出には時間がかかる
- 医療、福祉、介護、法律など多岐にわたる相談に対応するための広い知識と高い専門性及び豊富な経験が求められるため、人材の確保が困難。



御清聴ありがとうございました！



たつの市イメージキャラクター
赤とんぼくん

たつの市イメージキャラクター
あかねちゃん